

秋冬号
2014

ほっと タイムス



続けてみよう よりよい生活習慣

大人が子供の生活習慣をつくり、規則正しい生活習慣が子供の未来をつくります。

あいさつ

「おはよう」「おやすみ」「ただいま」
「いってらっしゃい」とあいさつを交わすと、何となくほっとしたり、ほかほかした気持ちになったりしませんか。

あいさつは、お互いが安心するためのパスワードであり、コミュニケーションのはじまりです。



Point!
親がすすんで声がけを

自然体験

山、海、近くの公園など、自然の中で体を活発に動かすことは、健康な体づくりにつながります。

散歩、外遊び、スポーツなどの気軽につける運動から登山など、少し汗ばみ、体温が上がるような運動と一緒にしてみましょう。



Point!
やりたいという気持ちを大切に

お手伝い

お手伝いをすることで子供は家の中の仕事を理解し、家族の一員としての自覚が深まります。

一つの役割を任せられ、「ありがとう」「うれしかったよ」の言葉が、「家族のために役立っている」という自信と意欲となり、やがて自立につながります。



Point!
発達にあわせて、役割をほめたりはげましたりしながら
責任感や自主性が育つよ。

生活リズム

整った生活リズムは子供の健やかな成長のためのエネルギー源です。
「早寝・早起き・朝ごはん」を定着させ、毎日決まった時間に就寝することやテレビやゲーム、スマホの時間を決めるなど、家庭でルールについて話し合って実行するようにしましょう。



Point!
ぐりかえしを大切に
(例)「寝る時間は毎日同じにします。ある日、遅くなても、また戻すようにしましょう。」

かぞくの紹介

不破さんファミリー

光大さん 千晴さん
壮真さん(6歳) 唯央利さん(3歳)
日向さん(10歳)

家族そろって生き物が大好き。子供たちは庭や公園でよく虫探しをします。

朝食と夕食は必ず家族そろって食卓を囲み楽しく会話しながら食べることにしています。

続けるために

「返事が上手」「音楽が得意」「昆虫に詳しい」「相手の身になって考える」など、子供には一人一人いろいろなよさがあります。発達にあわせながら、これらのよさをほめたりはげましたりすると、子供はやる気を出し、自信をもつて継続的に取り組むようになります。常に「子供に寄り添う」という一貫した気持と親子のコミュニケーションがよりよい生活習慣づくりにはとても大切です。

子供が小さければ小さいほど、親がかかわりましょう。よりよい生活習慣を身に付けさせることは子供への大切な贈り物です。

